「ストライク」（販売元：ラベンスバーガー）
プレイ人数：２～５人、所要時間：約10分
円形の闘技場（アリーナ）に向けて自分のサイコロを1個ずつ投げ入れ、同じ出目を揃えて回収していく、ダイスゲーム。

★このゲームが好きな人におすすめの本★



『サイコロだけで遊べる世界のゲーム』

高橋 浩徳／監修，山と溪谷社（797.3サ）

サイコロを使った遊びは世界各地にたくさんあります。この本では、日本や世界各国で昔から遊ばれてきた、伝統的なサイコロゲーム45種が紹介されています。気になるサイコロゲームを他にも探してみましょう♪

【WebOPAC】

『ダイスゲーム百科』



ライナー・クニツィア／著，正田 謙／訳
スモール出版（798ク）

約140のダイスゲームとそれらのバリエーションを掲載した、ダイスゲームの究極本。運がメインの気軽なゲームから、本格的な駆け引きのゲームまで、幅広く網羅！戦略や確率、ダイスの理論なども学べます。

【WebOPAC】



『確率に強くなる』

ニュートンプレス（417.1カ）

２個のサイコロを振った場合の確立の求め方は？ルーレットや宝くじ、ポーカーなどのギャンブルについて確率を使って「期待値」を求める方法とは？オールカラーで、確率と統計について基礎からわかりやすく学べます。

【WebOPAC】

『さいころ』



増川 宏一／著，法政大学出版局（384.8マ）

古代神話の世界から近現代の博徒の動向まで、さいころの役割について詳しく書かれています。さいころの歴史について興味がある人必見！

【WebOPAC】

「ジャングルスピード」（販売元：アスモデ）
プレイ人数：２～10人、所要時間：約15分
順番にカードをめくっていき、誰かと同じ形の絵柄が出た瞬間、片手で中央のトーテムを素早く掴み合う、反射神経系ゲーム。

★このゲームが好きな人におすすめの本★



『錯視図鑑』

杉原 厚吉／著，誠文堂新光社（145.5ス）

「ジャングルスピード」というゲームは似たような絵にだまされずに同じ絵柄を瞬時に見つけられるかがカギとなります。同じように、脳がだまされてしまう錯視の世界を図鑑で学んでみませんか？

【WebOPAC】

『だまし絵練習帖』



竹内 龍人／著，誠文堂新光社（725.2タ）

目の錯覚や脳の仕組みを利用した「だまし絵」。だまし絵を通すと、自分の脳が見えてきます。だまし絵の描き方や原理についてわかりやすく学べる本です。

【WebOPAC】



『ふしぎな模様の描き方』

おまけたらふく舎／著，誠文堂新光社（727オ）

脳がとまどう不可思議な図形、暗号模様、絵が隠された模様など、不思議な模様を自分で描いてみませんか？42作品の模様の描き方が収録されています。

【WebOPAC】

『DVDでわかる百人一首競技かるた 永世クイーンが教える必勝ポイント』

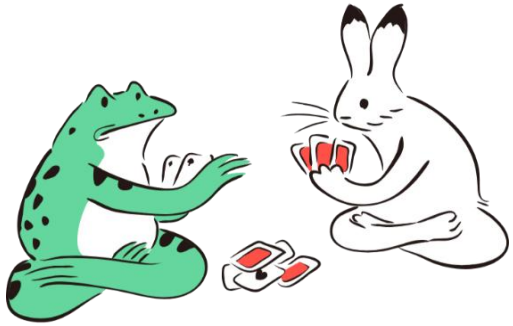


渡辺 令恵／監修，全日本かるた協会／協力，メイツ出版（798テ）

反射神経が必要な競技の一つ、「競技かるた」。競技かるたの必勝ポイントについて図解でわかりやすく解説した本。反射神経を鍛えてみよう！

【WebOPAC】

ボードゲーム関連本 おすすめブックリスト



★「図書館でボードゲーム」イベント★

日時：令和８年11月８日（日）
13時30分～15時30分
場所：かんなみ知恵の和館 １階 多目的室
（函南町上沢107番地の１）
内容：「ハゲタカのえじき」「ワードバスケット」「ボトルチップス」「ストライク」「ジャングルスピード」といったボードゲームを一緒に楽しみます。
協力：静岡県立三島南高校JRC部
対象：中学生以上
定員：先着20人
申込み：10月1日（木）～
カウンター、電話、電子申請のいずれかにて

【電子申請】

函南町立図書館／編集・発行
（☎055-979-8700）

2026年10月発行

「ハゲタカのえじき」（販売元：メビウスゲームズ）

プレイ人数：２～６人、所要時間：約10分

1～15の数字カードを手札として持ち、場に出るプラスやマイナスの得点カードを奪い合う、心理戦カードゲーム。

★このゲームが好きな人におすすめの本★



『おうちでボードゲームforママ&キッズ』

すごろくや／著, スモール出版（798オ）

「ハゲタカのえじき」を含めた全50タイトルのボードゲームを紹介した本。対象年齢・人数・所要時間・難易度などが一目でわかります。大人だけで遊んでも楽しめるボードゲームもあるので、お気に入りを見つけてみましょう♪

【WebOPAC】



『マンガでわかる心理学』

ポーポー・ポロダクション／著,
ソフトバンククリエイティブ（140マ）

心理戦のゲームで遊んだら、心理学に興味がわいてきませんか？その行動のウラにあるものは何か、心理学について図解でわかりやすく書かれた本です。

【WebOPAC】



『メンタリズム』

DaiGo／著, 扶桑社（140.4タ）

メンタリズムとは、「人間の心や行動を読み解き、誘導する技術」のこと。心理戦のゲームでは、相手をいかに自分が有利になるように誘導できるかもカギとなります。メンタリズムのテクニックについて学んでみましょう♪

【WebOPAC】



『バイアスの心理学　増補改訂版』

ニュートンプレス（141.5ハ）

「考え方のクセ」ともいわれる「認知バイアス」。無意識に判断してしまっている思考の偏りについて知るのも大事。実験や調査によるエビデンスに基づいて解説されており、オールカラーで読みやすい本です。

【WebOPAC】

「ワードバスケット」（販売元：メビウスゲームズ）

プレイ人数：２～８人、所要時間：約10分

場のカードの文字で始まり手札の文字で終わる単語を考え、思いついたら声に出しながら手札を場に投げ入れる、早い者勝ちしりとりカードゲーム。

★このゲームが好きな人におすすめの本★



『しりとり』

安野 光雅／作・絵, 福音館書店（Eア）

最初のページの中から好きな絵を選んで、その絵としりとりができる絵を次のページから探し、最後のページまでつなげていく、しりとり絵本。
まずは絵本でしりとりに慣れてみましょう♪

【WebOPAC】



『ことばおてだまジャグリング』

山田 航／著, 文藝春秋（807.9ヤ）

回文、早口言葉、しりとり、アナグラム、パングラムなど、身近な言葉遊びから難易度の高い短歌の技巧まで、“短歌界の超新星”が日本語の「音」を使った遊びを紹介します。

【WebOPAC】



『子どもの語彙力の育て方』

齋藤　孝／著, KADOKAWA（379.9サ）

しりとりは、語彙力がある人ほど楽しくなりますよね。この本では、日本語研究の第一人者が、語彙力を高めるための、言葉に関するゲームや声かけについて紹介します。

【WebOPAC】



『ここ一番の国語辞典』

話題の達人倶楽部／編, 青春出版社（810.4コ）

言葉の雑学、日本語のウンチク、反対語など、知って面白い、気づけば教養になる身近な日本語の知識を紹介した本。普段使わない言葉もたくさん身につけてみましょう♪

【WebOPAC】

「ボトルチップス」（販売元：平和工業株式会社）

プレイ人数：１～６人、所要時間：約15分

さいころを振って、出た目の数だけ、ボトルの上に木製のチップを崩さないようにバランスよく積み上げていく、バランスゲーム。

★このゲームが好きな人におすすめの本★



『重力とは何か？　増補第2版』

ニュートンプレス（423.6シ）

チップが落ちないように積み上げるというゲームは、そもそも「重力」があるからこそ成り立つゲーム。
重力とはいったい何なのか、基礎からじっくり学んでみませんか？

【WebOPAC】



『小黒三郎の組み木遊び』

小黒 三郎／著, 婦人生活社（754.3オ）

木製チップを使ったゲームで遊んだら、他にも木のおもちゃの魅力を感じてみませんか？組み木おもちゃ作家の著者が、作品作りのポイントやコツを紹介してくれます。

【WebOPAC】



『自分で作る木のおもちゃ』

スタジオタッククリエイティブ（754.3シ）

作って楽しい、遊んで楽しい、子どもから大人まで夢中で楽しめる木のおもちゃの作り方を紹介した本。自分で作って遊んでみませんか？

【WebOPAC】



『赤ちゃんからはじめる木のある暮らし』

東京おもちゃ美術館／著,
幻冬舎エデュケーション（599.8ア）

子育ての環境に積極的に木を取り入れ、赤ちゃんと木との出会いを大切にする「ウッドスタート」。
木のおもちゃや身近でできる自然遊びなどが紹介されています。赤ちゃんの頃から木に親しんでみませんか？

【WebOPAC】